

研究実施のお知らせ

2027 年 7 月 27 日 ver.1.0

研究課題名

関節リウマチ患者における病診連携が治療反応性に及ぼす影響

研究の対象となる方

2014 年 1 月から 2024 年 12 月の間に国立病院機構浜田医療センターで関節リウマチと診断された後、新規に治療開始され、その後 1 年以上継続して通院された方。

研究の目的・意義

この研究では、関節リウマチの患者さんが、診断後にどのような治療を受け、どのような経過をたどったかを診療録（カルテ）から調べます。また、地域のかかりつけ医とリウマチ専門医が連携して診療を行うことが、治療の質や病状の改善につながっているかを明らかにすることを目的としています。

島根県西部のようにリウマチ専門医が少ない地域では、地域のかかりつけ医と専門医が協力して診療を行うことが大切です。しかし、このような診療体制が実際にどの程度効果を上げているのかは、これまで十分に調べられていませんでした。

この研究により、専門医が少ない地域でも質の高いリウマチ診療を提供するために、どのような診療体制が望ましいかを明らかにしたいと考えています。研究の成果は、今後の地域医療の充実や、関節リウマチの患者さんが住む場所にかかわらず適切な治療を受けられる体制

づくりに役立つことが期待されます。

研究の方法

この研究では、新たに関節リウマチと診断されて治療を開始した患者さんの診療録（カルテ）に記録されている情報を用いて調査を行います。対象となるのは、2014年1月から2024年12月までに浜田医療センターで関節リウマチと診断され、治療を開始した患者さんです。調査では、年齢や性別、血液検査の結果、病気の状態、使用した薬の種類や量、治療内容の変化など、通常の診療で記録されている情報を確認します。また、治療開始時、その約6か月後、約1年後の病状や治療内容を比較し、患者さんの状態に応じて適切に治療が行われていたかや、地域のかかりつけ医とリウマチ専門医が連携して診療を行うことが治療成績にどのような影響を与えるかを調べます。この研究では、新たな検査や治療を行うことはありません。日常診療で得られた診療情報のみを使用して調査を行います。浜田医療センターでの診療情報はパスワードロックされ、外部から容易にアクセスできない専用のパソコンに格納し、直接研究代表機関に持ち帰ります。お名前や患者番号など、個人を特定できる情報は研究には使用せず、研究結果が公表される際にも個人が特定されることはありません。

研究の期間

2026年09月15日～2027年6月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあ

なたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究代表者：

島根大学医学部附属病院地域医療政策センター 近藤正宏

共同研究機関

[研究機関]	[研究責任者]	[研究機関の長]
島根大学医学部附属病院地域医療政策センター	近藤正宏	竹谷 健
国立病院機構浜田医療センター	近藤正宏	北條宣政

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2027 年 2 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほ

しくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院地域医療政策センター 近藤正宏

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2237 FAX 0853-20-2347